

世界史

I 次の文章を読んで、下記の設問（問1～問8）に答えなさい。

イスラーム教はその成立以来、ユーラシア大陸の広い地域にわたって伝播していった。

8世紀には、アラブ＝ムスリムの遠征軍が中央アジアのオアシス地域に進出し、イスラームの文化が広がった。751年の^(A)タラス河畔の戦いで唐軍を破ったアラブ軍は、さらにその支配勢力を拡大させていった。やがて中央アジアとイラン東北部にはイラン系のサーマーン朝が成立し、アラビア文字で表記される¹などイラン＝イスラーム文化の基礎が誕生した。この文化は、^(B)アッバース朝を滅ぼした^(C)イル＝ハン国（フレグ＝ウルス）のもとで成熟し、中央アジアを支配した²の大都市サマルカンドで³とまじわり、文芸や建築などの分野で花開いていった。

中央アジアに版図を広げたイスラーム王朝は、10世紀末から北インドへの軍事進出を開始した。デリーを支配した諸王朝はデリー＝⁴朝と総称される。^(D)それらの王朝の保護のもとでインド＝イスラーム文化が誕生した。この文化は16世紀に^(E)ムガル帝国が成立するとともに隆盛期を迎え、公用語の¹と地方語がまざったウルドゥー語が誕生し、建築においても、インド様式とイスラーム様式が融合した⁵などの建築物がつくられた。

西アジアでは11世紀、中央アジアから西進したトルコ系民族によって^(F)セルジューク朝が建てられた。創始者であるトゥグリル＝ベクは⁴（支配者）の称号を得るとともに、軍事面ではすぐれた騎馬戦士であったトルコ系マムルーク（奴隸軍人）を重用し、統治面ではイラン系の官僚を登用した。セルジューク朝のあと、16世紀初めにイランで台頭した神秘主義集団の指導者が、トルコ系遊牧民を率いて⁶を建国した。また、現在のトルコ共和国のあるアナトリアでは君主⁴を中心に国家が誕生し、^(G)オスマン帝国へと発展していった。

問1 空欄¹～⁶に入れるのに適当な語句を以下の語群から1つずつ選び、その番号をマークしなさい。

- | | | |
|--------------|--------------|---------------|
| ¹ | ① ペルシア語 | ② ヒンドゥー語 |
| | ③ サンスクリット語 | ④ ラテン語 |
| ² | ① ウイグル | ② 匈奴 |
| | ③ ティムール朝 | ④ マムルーク朝 |
| ³ | ① ヘレニズム文化 | ② トルコ＝イスラーム文化 |
| | ③ トルコ民族主義 | ④ パン＝イスラーム主義 |
| ⁴ | ① カリフ | ② スルタン |
| | ③ アッラー | ④ ムハンマド |
| ⁵ | ① アルハンブラ宮殿 | ② ポタラ宮殿 |
| | ③ ハギア＝ソフィア聖堂 | ④ タージ＝マハル |

6

① サファヴィー朝

② ササン朝

③ アケメネス朝

④ ウマイヤ朝

問2 下線部(A)を契機に、唐からイスラーム諸国にもたらされたとされる技術は何か。正しいものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 7

- ① 鉄砲
- ② 製紙法
- ③ 造船
- ④ 羅針盤

問3 下線部(B)に関する記述として誤りであるものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 8

- ① この国家の首都はバグダードであった。
- ② 十字軍によって滅ぼされたが、まもなくウマイヤ朝が誕生した。
- ③ ギリシア語で書かれた医学・幾何学などの文献が盛んにアラビア語に翻訳された。
- ④ 『千夜一夜物語』（『アラビアン＝ナイト』）がうみだされた。

問4 下線部(C)に関する記述として正しいものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 9

- ① クビライによって建てられた。
- ② チベット（吐蕃）を属国とした。
- ③ 支配層はチベット仏教を信奉したため、イスラーム教と仏教の融合がすすんだ。
- ④ モンゴル帝国の一部であった。

問5 下線部(D)に関する記述として正しいものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 10

- ① イスラーム信仰は、インド古来のカースト制度に苦しむ人々には広がらなかった。
- ② インドの仏教文化との融合がすすむなかで、大乘仏教がうまれた。
- ③ 現実の統治でイスラーム教が強制されることはなかった。
- ④ イブン＝ハルドゥーンによって『世界史序説』が著された。

問6 下線部(E)に関する記述として誤りであるものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 11

- ① ヨーロッパ商人にたいして、帝国内における商業活動や居住の自由などの特権(カピチュレーション)が認められた。
- ② 第6代皇帝アウラングゼーブはイスラーム教に深く帰依し、ヒンドゥー教徒に対して人頭税(ジズヤ)を復活させた。
- ③ イスラーム教とヒンドゥー教の融合をはかる信仰のなかからシク教がうまれた。
- ④ 帝国の弱体化とともに、イギリスやフランスの東インド会社が各地を植民地化していった。

問7 下線部(F)に関する記述として正しいものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 12

- ① 西ヨーロッパで十字軍が組織されたのは、セルジューク朝の拡大に対抗するためであった。
- ② キリスト教徒による国土回復運動(レコンキスタ)に対抗した。
- ③ ローマ＝カトリック教会と軍事同盟を結び、ビザンツ帝国に侵入した。
- ④ 首都はコンスタンティノーブルである。

問8 下線部(G)に関する記述として誤りであるものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 13

- ① 15世紀にビザンツ帝国を滅ぼし、ヨーロッパに勢力を拡大させた。
- ② 積極的な拡大政策のもと、オーストリアのウィーンを包囲することもあった。
- ③ 第3代皇帝アクバルは、支配階層の組織化をはかるためマンサブダール制を導入した。
- ④ 帝国内のキリスト教徒は、その宗教共同体の法に従って暮らすことが保障され、イスラーム教徒と共存した。

Ⅱ 次の文章を読んで、下記の設問（問1～問8）に答えなさい。

うぶみ
産美：ねえねえ「産業革命」って知ってる？

わざお
業雄：なんだいやぶから棒に。そんな基本用語知ってるに決まってるじゃん！

産美：じゃあ説明してみてよ。

業雄：「産業革命」ってのは、14世紀の後半、イギリスから始まって機械とエネルギー機関を用いる大規模な工場制度が普及したことを言うんだよね？ この結果、産業の中心が農業から工業へと大きく変革して飛躍的に生産量が増えた。これを産業革命って言うんだ。

産美：そう、大雑把に言うと工場という働く場所ができあがって、工場のある場所が^(A)都市として労働者を集め、^(B)工場労働者のための社会システムが作られていく世の中になるんだ。

業雄：難しいことを言えば産業革命は、軽工業部門での機械化や15エネルギーの使用を第1次産業革命と言うのにたいし、重化学工業部門で16エネルギーへ転換していくことを第2次産業革命と言ったりするよね。

産美：産業革命は、^(C)植民地と宗主国の関係も変えていくよね？例えばイギリスとインドの関係はそうだと思うよ。

業雄：どういうこと？

産美：イギリス帝国の植民地であったインドは、もともとは17をイギリスに供給していたんだ。だけどイギリスで産業革命が成立すると、大量生産するための原材料供給地を必要としてくるんだ。そのうえ、イギリスの国内市場だけでは消費しきれなくなった製品を売る先が必要になってくる。結果として、インドは原材料供給地となり17を移入する市場にもなっていくんだ。

業雄：そう、だから産業革命は、大量生産・大量消費を美德とするようになったんだ。その反省もあって現在^(D)S D G s^{注)}が叫ばれるようになったんだ。

注) 持続可能な開発目標（S D G s : Sustainable Development Goals）

問1 空欄14～17に入れるのに適当な語句を以下の語群から1つずつ選び、その番号をマークしなさい。

- | | |
|---|---|
| <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; display: inline-block;">14</div> | <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div>① 17</div> <div>② 18</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div>③ 19</div> <div>④ 20</div> </div> |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; display: inline-block;">15</div> | <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div>① 人力</div> <div>② 畜力</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div>③ 水力</div> <div>④ 石炭</div> </div> |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; display: inline-block;">16</div> | <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div>① 石油</div> <div>② 原子力</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div>③ 風力</div> <div>④ 太陽光</div> </div> |

17

- ① 綿織物
③ 絹織物

- ② 毛織物
④ 麻織物

問2 下線部(A)に関して、イギリスにおいて以下の工業が集積した都市名として最も適当な都市名を次の①～④のうちから1つずつ選び、その番号をマークしなさい。

18

- 綿織物 ① マンチェスター
③ ブレスト

- ② ヴェネツィア
④ カンザス

19

- 毛織物 ① ミラノ
③ ヨーク

- ② リヴァプール
④ フランドル

20

- 鉄鋼 ① メサビ
③ ピッツバーグ

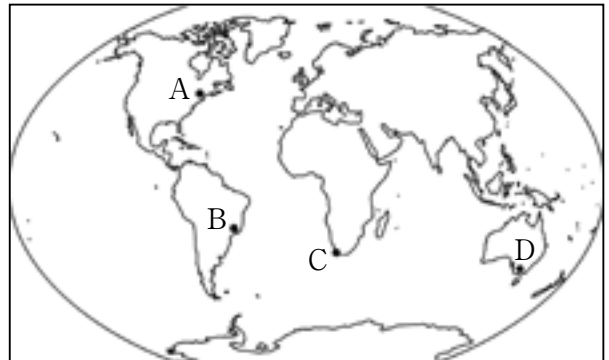
- ② キルナ
④ バーミンガム

問3 下線部(B)に関して、工場労働者の成立の背景や結果を示す説明文として、誤りであるものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 21

- ① 囲い込み(エンクロージャー)によって農村を追われた人々が、工場に吸収されて成立した。
② 19世紀後半になって定時の勤務形態がレクリエーションの機会を増大させた。
③ 彼らの権利は労働組合法によって制限されていた。
④ 農業革命によって、大量の工場労働者を養えるようになった。

問4 下線部(C)に関して、次の図中でイギリス帝国領に属したことのない都市はどこか。次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 22

- ① A ② B
③ C ④ D



問5 下線部(C)に関して、イギリスと植民地の貿易上の主要な取引品目の組み合わせとして正しいものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 23

- | 植民地 | — | 取引品目 |
|-----------|---|------|
| ① 北アメリカ | — | 綿花 |
| ② オーストラリア | — | 麻布 |
| ③ 香港 | — | 砂糖 |
| ④ アイルランド | — | 鉄鉱石 |

問6 下線部(C)に関して、イギリスだけでなく西欧諸国は世界中に植民地を築き支配した。旧宗主国と旧植民地の現国名の組み合わせとして正しいものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 24

- | | 旧宗主国 | — | 現国名 |
|---|-------|---|-------|
| ① | スペイン | — | ベトナム |
| ② | オランダ | — | フィジー |
| ③ | ポルトガル | — | ブラジル |
| ④ | フランス | — | マレーシア |

問7 下線部(D)に関して、達成すべき年として設定されているものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 25

- ① 2030年 ② 2040年 ③ 2050年 ④ 2060年

問8 下線部(D)に関して、目標として誤りであるものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 26

- | | |
|---------------|-------------------|
| ① 働きがいも経済成長も | ② 産業と技術革新の基盤をつくろう |
| ③ 質の高い教育をみんなに | ④ つくる義務つかう権利 |

Ⅲ 次の文章を読んで、下記の設問（問1～問6）に答えなさい。

(A)東西冷戦のもとで、東側・西側いずれの陣営にも属さない「第三世界」を形成する国々がでてくる。そのことが、北半球の旧宗主国とアジア・アフリカなどの新しく独立した国々やラテンアメリカ諸国との間にあらたな対立軸を形成することになった。多かれ少なかれ東西対立と関わりをもちながらも、「南北」という対立軸も出てきたということである。西側が「第一世界」、ソ連を中心とする東側が「第二世界」、いずれにも属さない国々が、**27** 革命の「第三身分」にならって「第三世界」と見立てられたのである。(B)これら新しい諸勢力が結束して発言力を強めるために、1955年の**28**などの国際会議が開催されている。東西対立の激化の間をぬって、これら新興諸国が国際社会での存在感を高めていった。

1950年代、1960年代にアフリカ諸国の多くが独立する。1957年、**29**の指導のもとに、独立したのはガーナである。とりわけ1960年は「アフリカの年」と呼ばれるように一挙に17もの国々が独立を果たしている。旧宗主国との関係は一様ではないが、概して(C)経済的にも政治的にも不安定であり、内戦、クーデタ、軍事独裁政治が繰り返された。また、南アフリカでは(D)アパルトヘイトと呼ばれる極端な人種差別政策がとられた。

ラテンアメリカ諸国に目を移そう。この地域はアメリカにとって「裏庭」であり、第二次世界大戦後もその強い影響下におかれた。他方でその干渉に反発する動きもみられた。1948年、アメリカ主導で成立した組織に、**30**がある。反米的な動きとしては、ペロン大統領のもとで社会改革をおこなった**31**、左翼政権のもとで土地改革に手をつけたグアテマラをあげることができる。キューバでは、アメリカ系企業と関係のある**32**独裁政権にたいし、1959年、**33**に率いられた革命がおきた。反革命軍を支援するアメリカとの対立が深まり、さらにアメリカ系企業を国有化したことを契機に両国は国交を断絶した。そして、キューバは西半球で最初の社会主義国となりソ連に接近した。こうして、キューバを舞台にアメリカとソ連との間に、「キューバ危機」と呼ばれる一触即発の状況がうまれた。どうにか、この危機は回避され、(E)アメリカとソ連との間に、さらに国際社会に緊張の緩和がみられた。もっとも、ラテンアメリカでの「アメリカの影」は残り、メキシコを除く**30**加盟国は1964年、キューバと国交を断絶した。

問1 空欄**27**～**33**に入れるのに適当な語句を以下の語群から1つずつ選び、その番号をマークしなさい。

- | | | |
|-----------|-------------|----------|
| 27 | ① フランス | ② アメリカ独立 |
| | ③ ロシア | ④ イギリス |
| 28 | ① バンドン会議 | ② ウィーン会議 |
| | ③ パグウォッシュ会議 | ④ コロンボ会議 |

- | | | |
|----|-------------------|----------------|
| 29 | ① ナセル | ② ネルー |
| | ③ ティトー | ④ エンクルマ |
| 30 | ① 北大西洋条約機構 (NATO) | ② 米州機構 (OAS) |
| | ③ ワルシャワ条約機構 | ④ 世界貿易機関 (WTO) |
| 31 | ① ペルー | ② ブラジル |
| | ③ アルゼンチン | ④ ウルグアイ |
| 32 | ① ポルポト | ② バティスタ |
| | ③ ゲバラ | ④ ピノチェト |
| 33 | ① カストロ | ② ホー＝チ＝ミン |
| | ③ シモン＝ボリバル | ④ サパタ |

問2 下線部(A)に関する記述として正しいものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 34

- ① アフリカ諸国は東側の植民地だったので、その影響が強くなり、第二次世界大戦後この地域には社会主義政権が多く成立した。
- ② 西側は資本主義、東側は社会主義を掲げて対立し、互いに影響を与えることはなかった。
- ③ 東側も西側もかたく結束して陣営を築いたので、どちらにも内部対立がなかった。
- ④ 1989年、マルタ会談で冷戦の終結が宣言された。

問3 下線部(B)に関する記述として誤りであるものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 35

- ① これらの国々は、平和共存、反植民地主義、主権の尊重などの基本原則のもとで自立化を追求した。
- ② インドは、この動きにおいて中心的な役割を果たした。
- ③ 中国は、東側に属していたので、この動きには無関心であった。
- ④ これらの国々は、東西冷戦に巻き込まれることへの警戒が強かった。

問4 下線部(C)に関する記述として正しいものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 **36**

- ① 旧宗主国の意向にそった農業政策が決められ、自立的な農業開発が阻害された。
- ② 資源をめぐる部族紛争や地域間紛争があったが、旧宗主国は介入しなかった。
- ③ 独立した新興諸国では、国際機関を設立して経済格差を是正しようという方向には向かわなかった。
- ④ 独立した新興諸国は第三世界全体として結束して、貧困を克服した。

問5 下線部(D)に関する記述として正しいものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 **37**

- ① 人口的に多数派の白人が黒人・有色人種を支配するための政策であった。
- ② アフリカ民族会議(ANC)の主導のもと、人種差別撤廃をめざす運動がくり広げられた。
- ③ この政策への批判として、国際連合から経済制裁が発動されたことはない。
- ④ この政策は現在も維持されている。

問6 下線部(E)に関する記述として誤りであるものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 **38**

- ① アメリカとソ連の首脳間を結ぶ直通通信回線(ホットライン)が設置された。
- ② アメリカ、ソ連、イギリス間で包括的核実験禁止条約(CTBT)が調印され、その後これらの国では核実験が凍結されている。
- ③ 多くの国々の間で、核拡散防止条約(NPT)が調印された。
- ④ 2次にわたる戦略兵器制限交渉(SALT I、SALT II)がおこなわれた。